

# とっとり 県議会だより

編集・発行…鳥取県議会  
県議会広報紙…年4回発行  
令和2年9月1日発行

No.033

Jun.  
**6月**  
議会

主な記事 Contents

代表質問	2p
一般質問	3~7p
議会改革	8p
常任委員会活動	9p
議決結果	10~11p
関西広域連合議会	12p
お知らせ	12p

## 6月定例会の概要

6月定例会は6月9日、平井知事から総額125億円余の令和2年度鳥取県一般会計補正予算(第2号)や知事等の給料の特例に関する条例など17議案が提案されて開会した。

本会議では、代表質問は県議会自由民主党が、一般質問には28名の議員が登壇し、県政の諸課題について知事らと活発な議論を展開した。

会期中、国の第2次補正予算の成立を受け、知事から、令和2年度鳥取県一般会計補正予算(第3号)が追加提案された。

審議の結果、18件の知事提出議案全て

を原案どおり可決した。議員提出議案については「鳥取県議会議員の議員報酬の額の特例に関する条例」など7議案を提案し、原案どおり可決した。

陳情については、7件を全て不採択と決し、6月30日に22日間の会期を閉じた。

## 4月臨時会の概要

4月臨時会が4月24日に開催され、知事から、新型コロナウイルスがもたらした危機的状況を鳥取県一丸となって乗り越えていくため、令和2年度一般会計補正予算(第1号)が提案された。

本会議での質疑、常任委員会での審査を経て、原案どおり可決し、閉会した。

## 表紙の写真

たかはししゅんや  
**高橋 峻也** 選手  
(米子市出身)

- ・世界パラ陸上競技選手権大会  
(2019年11月・ドバイ)  
やり投げ 6位
- ・ジャパンパラ陸上競技大会  
(2019年7月・岐阜)  
やり投げ 2位

## 新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力をお願いします

新型コロナウイルス感染症特設サイト  
最新情報、相談窓口などを確認できます。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/corona-virus/>

キーワード 鳥取県 新型コロナ 🔍 検索



# 代表質問

## 鳥取県議会自由民主党



選挙区 鳥取市

中島 規夫 議員

### 新たな日常生活の確立

**問** 新型コロナウイルス感染症が終息するまでの間、いかに新たな日常生活をつくりあげて、社会経済活動をとり戻していくのか。

**答** 全国トップレベルの病床を確保するとともに、躊躇ないPCR検査の実施により感染を早期探知し医療的ケアを実施するなど、次の波に備えた医療体制を整備する。また、鳥取県コロナに打ち克つ新しい県民生活推進本部を設置し、業界毎のオーダーメイド型のガイドラインの作成等により、衛生環境が整った新しい企業スタイルや生活スタイルを確立し、活動のレベルを徐々に上げていく。

### 地方財政への影響

**問** 新型コロナウイルスの影響による今年度の歳入予算の見込みと不足した場合の対応を伺う。

**答** 通常、約800億円の税収を見込んでいるが、200億円程度減額の見込み。借金をして後年度精算する減収補填債や企業等の納税の徴収猶予に対する起債等により今年度は対応予定。次年度以降の財源措置についても、全国知事会等を通じて国に提言していく。

### 医療提供体制

**問** 本県の医療提供体制の総括と感染拡大に備えた対応方針は。

**答** 現在、322床の病床と軽症者の用のホテル等を700室確保し、トリアージセンターによる重症度に応じた病床等の振り分けの仕組みを構築した。今後の戦略として、専門家チームを発足し、クラスター分析や福祉施設等の感染防止指導を実施する。ECMO(※)の体制拡充やPCR検査機の台数を倍に増やすなど検査体制も拡充する。

### 避難所における感染症対策

**問** 出水期や大規模災害に備え、避難所における感染症対策をどのように取り組んでいくのか。

**答** 4月補正を活用し、市町村向けの感染症対策の補助制度を作るとともに、複数の避難所の設置や衛生対策を盛り込むなど、避難所対策のマニュアルの改訂に向けた指導を行い、いま市町村で検討を急いでいるところである。

### 中小企業等の支援

**問** 戦後最大の経済危機にあたり、県経済をどのように立て直していくのか。

**答** 国の持続化給付金や家賃補助、雇用調整助成金が活用されるよう社会保険労務士や行政書士の協力を得て、東中西部にワンストップサービスの相談窓口を開設した。無保証料、無利子化した500億円を超える融資をはじめ、一事業所10万円の緊急支援や家賃等固定費に活用可能な応援金など、県独自の支援も進めている。

### 観光産業のモデル構築

**問** ウイルスと共存する観光産業のモデルをいかに構築するか。

**答** 未だ感染拡大の不安があるため、

#We Love鳥取キャンペーン等により、まず県内観光を活性化し、鎮静化の状況を見ながら、中国地方、関西エリアなど段階的に観光振興を広げていく。

### 学習環境の整備

**問** 今後の感染発生時に必要となるオンライン授業について、どのような体制で向かうのか。

**答** (教育長) 4月の臨時休業等の期間中、県立高校24校中21校が実施し、各学校のノウハウは動画で共有した。課題解決に向け、ICT環境の整備、ICT支援員の増員による研修強化など、全ての学校で対応できるように進めていく。小中学校についても、市町村教育委員会と議論し、県立高校と同様に教職員の研修やオンライン授業を実施するよう取り組んでいく。

### 特殊詐欺への対策

**問** 特別定額給付金などを装った特殊詐欺への対策は。

**答** (警察本部長) 特殊詐欺被害の防止には犯行手口の周知と水際対策が重要であり、各種媒体を活用した広報活動や水際対策としてコンビニ店等での声掛けの働きかけなど、引き続き被害防止対策を推進していく。

※ ECMO: 体外式膜型人工肺。静脈から血液を抜いて、人工肺に送り、血液を酸素化し体に戻す装置のこと。

# 一般質問

## 9月入学制議論と 子どもの学習機会確保



鹿島 功 議員

選挙区 西伯郡  
会派 自由民主党

**問** ①9月入学制の是非について全国知事会、市長会、町村会と連携を図って調査研究していただきたい②緊急事態でも等しく学ぶことができる学習環境整備をどう考えるか教育長に問う。

**答** ①高等教育の在り方研究会をつくるなど、幅広い議論を国全体でやるよう知事会の中で発言していく②(教育長)学校が求められている役割を認識して緊急事態という逆境を子どもたちの学びに変えていけるような県の教育でありたい。関係機関と共有し連携して取組を進めたい。

6月定例会では、28人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。

また、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧いただけます。

※掲載に時間がかかる場合があります。

鳥取県議会 議事録

検索



### 会派正式名称

- 【自由民主党】  
鳥取県議会自由民主党
- 【会派民主】  
会派民主
- 【公明党】  
公明党鳥取県議会議員団

### 答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事(各部局長の答弁も含む)。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。

## 県立高校の熱中症対策 子供たちにチャンス



松田 正 議員

選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**問** エアコンの使用により契約電力をオーバーした部分については補填すべきではないか。

**答** (教育長)しっかりと予算を確保させていただきながら、できる限り対応していく。

**問** 高校でバンド活動等をしている子たちの発表の場は、学校祭が縮小された場合ほぼなくなる。文化振興の観点からも県として手助けすべきではないか。

**答** 大人たちの責任において、子供たちの最後の発表の場を確保してあげたい。できる限り支援をさせていただきたい。

## スーパーシティ構想実現 の取組について



島谷 龍司 議員

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**問** コロナ後の新しい生活をより良いものにするために、住民参画、住民目線による未来社会の実現を目指すスーパーシティ構想に他地域に先駆けて取り組むべきだが知事の所見は。

**答** 議員からこのような将来構想について度々提言いただいているが、このスーパーシティ構想への取組により、重点的な規制緩和が図られ、地方創生の交付金などの重点配分によって財源的にも事業が進めやすくなるため、早速、県内市町村と実証の相談に入りたいと考える。

## ①広報 ②副業 ③ICT教室 ④内部留保 ⑤消費



福浜 隆宏 議員

選挙区 鳥取市  
会派 無所属

**問** ①経済回すためコロナ関連の丁寧な広報を②一次産業の人手不足を補う副業奨励を③面会制限や孤独解消にオンライン会話等のICT教室を④大企業が内部留保を貯めなくても良い政策転換を国へ要望⑤県や市町村職員の率先した県内消費の奨励を。

**答** ①確度の高い情報であれば随時提供したい②企業・産業同士の支え合いネットワーク構築を応援③市町村や施設に勧める④国全体の運動へと政府に申し上げる⑤内発的な職員の動きを応援していく。

# 一般質問

## ①②コロナ終息を見据えて ③再犯防止の活動



**尾崎 薫 議員**  
選挙区 鳥取市  
会派 会派民主

**問** ①診療所・介護施設の看護師対象に感染症認定看護師による研修をすべき②鳥取県の自然、文化を実感しつつ働けるICTの推進を③再犯防止のための社会生活自立支援センターの継続と運営費の支援が必要では。

**答** ①看護協会と研修会を実現させていく②テレワークが通常化するのを産業活力戦略として取り上げる。文化芸術支援は鳥取県が道を開いた。県として全力を挙げていく③国にセンターの継続支援を要望し、現場の声を聞き労働環境をサポートする。

## 起立性調節障害(※)の正しい理解と周知



**濱辺 義孝 議員**  
選挙区 鳥取市  
会派 公明党

**問** ひきこもり、ニート、フリーターになった初期原因は起立性調節障害が深く関わっている場合がある。治療等子ども達を守る体制構築が重要。医師会への働きかけについて知事に問う。また、安心して学べる環境づくりの取組について教育長に問う。

**答** 本県でも動き始めており、これから体制もしっかり取りながら、病気にアプローチを強めていきたい。(教育長)知事部局、医師会の力を借り、起立性調節障害の理解を深め、適切な対応ができるように取り組む。

## 新型コロナウイルス 地方公務員の懲戒処分



**坂野 経三郎 議員**  
選挙区 鳥取市  
会派 会派民主

**問** 無症状感染者に対処するため抗原検査や抗体検査をすべき。  
**答** 一定程度意味があり、疫学調査などと併用して検討する。

**問** 学生、女性や非正規社員にしわ寄せが来ないように、雇用創造の後押しをするべきだ。

**答** 機動的に対処していく。

**問** オンラインによる移住や就活のフェアや相談を活用すべき。

**答** 是非とも取り入れていく。

**問** 黒川元検事長の処分事例が、地方の先例となることを懸念。

**答** 本県は懲戒処分を行う委員会でも中立性を保ち運用を進める。

## コロナ禍から学ぶ 保育・介護の処遇改善



**銀杏 泰利 議員**  
選挙区 鳥取市  
会派 公明党

**問** ①人間の手が必要な社会福祉の仕事は、社会的になくしてはならないもの。保育士、介護士の処遇改善は遅れており、全産業の平均賃金を上回る賃金体系が必要。処遇改善を進めるべき②保育の縮小等で、職員の賃金や年次有給休暇等の取扱いは。

**答** ①政府のほうにも我々の総意を届けて要請をする。現場でもそうした処遇の改善や勤務環境の向上に貢献していく②雇用側の都合で休業させる場合は年次有給休暇の取得ではなく休業手当を支払う必要がある。

## 健康作りのモデル事業 新型コロナの取組



**西川 憲雄 議員**  
選挙区 八頭郡  
会派 自由民主党

**問** ①3年経過した健康づくりのモデル事業は新たなステージへ向かうべきでは？②コロナ対策の必要性は十分理解しているが、その財源は全て赤字国債で賄われている。取り組む政策は将来負担する若者が理解し得る政策であるべきと考えるか？

**答** ①成功例が出来てきたので横展開する局面に入っていると考える②全国知事会としてコロナ対策と同時に財政の健全化も提言している。感染症対策と経済社会活動の両面戦略を成功させなければならない。

## ①風評被害 ②わかとり夢の大会 ③光回線整備



**常田 賢二 議員**  
選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**問** ①今後も感染者が立ち寄った飲食店名を公表するのか②夢の大会を盛り上げるためにも、高校生が主体的に関わった活動は考えていないか③光回線整備が遅れた市町村に国・県の補助金を活用するよう働きかけてほしい。

**答** ①情報を明らかにする弊害も大きく、死活問題になる可能性も。もう一度慎重に検討する②創造的に高校生らしい盛り上げ方を映像・配信も含めやっていたら③鳥取市だと今なら市の負担15億円が2億数千円まで減る。倉吉市・南部町にも働きかけている。

※ 起立性調節障害：体の機能を調節する自律神経系の病気。

# 一般質問

## コロナ禍での県経済の見通しと対策について



**川部 洋 議員**  
選挙区 倉吉市  
会派 自由民主党

**問** 今後リーマンショック以上の大幅な経済の後退が予測されるが、鳥取県経済をどうしていくのか？コロナの収束が見通せない中で、融資等の延命措置だけではもたないのではないかと？

**答** 大変厳しい状況が続くが、ワークイン開発までは融資や助成でつなぐ。しかし、全部は補填できないので、新しい生活様式の下で経済社会活動のある程度認めていく。コロナ禍での新しい産業の創造も必要だが、持ちこたえるサポートの両方が相まってできることだと思っている。

## 県民の足地域公共交通を守る緊急コロナ対策



**山口 雅志 議員**  
選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**問** 厳しい経営環境にあるバス事業者への支援策は？

**答** 総額3～4億円の概算払いで前倒し給付の補助金の執行、助成制度を用いた観光商品開発、貸切バス増車支援、バス車両衛生対策支援、バス広告による収入支援、金融機関にも支援を求める。また、地元による応援アピール・乗車需要喚起策として県職員による通勤時のバス利用促進を図る。

危機対応として、バス路線代替を含め機動的に動き、現場の声を伺いながら対応する。

## 新型コロナ感染症の感染拡大への備え等



**藤井 一博 議員**  
選挙区 東伯郡  
会派 自由民主党

**問** ①新型コロナ感染症の第二波感染拡大への備えについて②新型コロナ感染症に関連した国の補正予算が県財政に与える影響について③災害時の避難所運営の課題について。

**答** ①PCR検査等を活用した初動での感染ルートの遮断、病床の確保、高齢者施設での施設内感染予防など体制を構築する②歳入減、歳入欠陥はやむを得ない状況。減収補填債の改正など政府に求めていく③専門家チーム内に感染症管理に長けた人材を加える等、運営体制を備える。

## コロナ第二波に備え取組の総括を



**伊藤 保 議員**  
選挙区 東伯郡  
会派 会派民主

**問** 5月25日に緊急事態宣言が全面解除されたが、第二波、第三波の発生が懸念されている。今議会でもいろいろな角度で議論されているが、第一波が収束しつつある今こそ、県庁各部署の感染症対策が十分であったのか、過度な対応がなかったのか等、検証と総括をすべきでないか。

**答** 第二波に備え、しっかりと状況総括し、戦略を見直しているところ。県庁各部署にも呼びかけ、より良い対策に結び付けていきたい。

## ・コロナ禍の産業振興 ・道交法改正について



**広谷 直樹 議員**  
選挙区 岩美郡  
会派 自由民主党

**問** ①新型コロナウイルス禍の中、安心・安全を担保しいかにして観光誘客につなげていくか②入国制限下での外国人技能実習生の沖底漁船員確保対策を国へ働きかけを③道交法改正によりあおり運転が厳罰化になったが、抑止に向けて県警の決意を。

**答** ①県ガイドラインに沿い、県内から中国地方、近畿地方へ観光需要を掘り起こす②全国的な問題であり政府に対策を求め関係方面にも働きかける③(警察本部長) 改正内容をしっかり周知し厳正、的確に対応する。

## 米子市祇園町の高潮対策



**内田 隆嗣 議員**  
選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**問** 異常気象で中海の高潮時の雨水排水対策や樋門操作に困難が生じている。祇園町の4つの樋門は、米子市が自治会に委嘱しているが負担が大きい。高潮と大雨が重なった場合、道路の冠水が発生している。ゲートの電動化、遠隔操作、常設ポンプの設置ができないか。また、祇園町承水路(※)管理道の安全対策として花壇の撤去、路面舗装、転落防止柵の設置ができないか？

**答** 地元の声を聞きながら、今後必要な対策を検討してまいりたい。

※ 承水路：背後地からの水を遮断し、区域内に流出させずに排水するための水路。

# 一般質問

## コロナ禍における ①食 ②農業 ③地域



語堂 正範 議員

選挙区 東伯郡  
会派 自由民主党

**問** ①巣ごもり応援事業の増額は考えているのか？②加工品の需要が高まると考える、県がコーディネートする仕組みづくりが必要では？③他補助金とイベント等開催支援事業と組み合わせはできるのか？

**答** ①増額することは考えられる。②ビジネスモデルが変わりつつある、検討する。③組み合わせをして助成をしていくという体制を取った。十分関係者と話し合いをしながら、円滑に地域のイベントが執行できるようにサポートする。

## 新型コロナ、米軍機訓練、 島根原発巡視問題



市谷 知子 議員

選挙区 鳥取市  
会派 無所属

**問** ①新型コロナA病院減収補填B空床補償5万円以上C発熱外来の医療従事者手当D10万円再スタート事業は売上30%未満も対象とし繰返し支援をE固定資産税減免F県緊急雇用G学生緊急給付金2次募集の周知②米軍機飛行訓練中止③島根原発巡視未実施問題中電が住民説明を。

**答** ①A国要望したB5～30万円に上がったC6月補正で対応D様々な制度を組合せて支援E今年度猶予・来年度減免F機動的に対応G学校へ働きかける②国に働きかけ続ける③強く要請。

## 県立厚生病院の 水害対策を



興治 英夫 議員

選挙区 倉吉市  
会派 会派民主

**問** 今回の厚生病院の浸水対策は、100年に1度の水害では、時間稼ぎ策にとどまるのでは。さらに、3階の非常用電源の能力強化が必要。水害に強い病院への抜本対策も検討すべきだ。

**答** (病院管理者) 床上1mの浸水に備える止水設備や、手術室・分娩室等への給電を行い、被災後3日程度の機能維持を図る。今後の対策として、非常用電源の能力強化や医療ガスの確保などを検討する。抜本対策としては別棟整備に数十億円必要で、病棟建替時の課題としたい。

## 県有資産の活用について



野坂 道明 議員

選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**問** 文化観光施設の管理方法は、民間活力導入可能性調査の結果をふまえ議論すべき。工業用水は、東京都の事例も含め、更なる民間活力導入を検討すべき。県有施設・資産有効活用戦略会議での真剣な議論が必要。

**答** 秋ぐらいまでには導入可能性調査の報告をまとめ、県有施設・資産有効活用戦略会議に諮り議会に報告をしたい。収益性だけではなく民間の知恵と調和させるのがニュー・パブリック・マネジメント(※)であり、その方向性を探求してまいりたい。

## 地域で守る森林整備と 洪水対策について



由田 隆 議員

選挙区 倉吉市  
会派 無所属

**問** 平成30年の24号台風で倉吉市高城地域では大きな被害が発生した。県管轄河川の河床整備及び流木、河川に近接する山林の樹木管理についての整備方針と、地域住民組織による河川整備の可能性について伺う。

**答** 7月豪雨、西日本豪雨、台風24号災害後、河道掘削、樹木伐採を行い、令和2年度ベースで大体3分の2で着手している。残り200ヶ所位である。住民組織による河川整備については後押しするよう制度を作り地元と協議をさせていただく。

## 危機管理と都市計画、 コロナを克服するすべ



山川 智帆 議員

選挙区 米子市  
会派 無所属

**問** ①公共施設で「密」を避けるすべ、とくに学校、40人では2クラスだが39人だと1クラス。対策として、教員の加配が必要では？②私たちの命に関わる「産廃」会議。コロナ状況下では基礎疾患、お子さんを抱え、出づらの方の傍聴の配慮必要では？

**答** ①教員の予算、今後よく協議フォローアップしたい。(教育長) 学校の状況を勘案しながら加配措置等必要に応じて考えたい。②県内の別地区でも傍聴できる工夫、調整検討。

※ ニュー・パブリック・マネジメント：民間企業において行われる経営手法を公共部門に取り入れること。

# 一般質問

## 事業再開の考え方 地産地消の推進



浜田 一哉 議員  
選挙区 境港市  
会派 自由民主党

**問** ①島根県と共催でイベントを企画しては②まんが王国とっりのコンテンツとしてeスポーツ(※)を検討しては③学校給食において地産地消の推進は多くのメリットを生み出す。地域間や生産者との連携が大事では。

**答** ①コロナの状況と共存しながら、サイクリングロードを活用したイベントを企画したい②関係者と話し合って体制を作り、大会を開くなど考えていく③県としても協力していく。周辺市町村を巻き込み、農協や漁協と一緒に取り組む。

## ①再犯防止について ②ICTと夜間中学



澤 紀男 議員  
選挙区 米子市  
会派 公明党

**問** ①鳥取県は再犯防止につなげる支援として高齢者、障がい者のうち起訴猶予者、執行猶予者、罰金刑、科料を科された人を対象にした鳥取県社会生活自立センターを東部に開設し成果を上げている。県西部においても開設が必要と考えるが伺う。②夜間中学の対象者は県内に広く点在している。ICTを活用した遠隔授業について伺う。

**答** ①関係者とも今後よく協議しセンターを充実して行く。②(教育長)非常に有効。遠隔授業について検討していきたい。

## 新型コロナ禍での 地域再生・雇用の振興



西村 弥子 議員  
選挙区 米子市  
会派 会派民主

**問** ①国の家賃支援給付金制度の対象に、緊急事態宣言下で売上激減した4月を入れるべきでは②雇用調整助成金を使える会社がまだあるのでは。新たに雇用者へ直接給付する休業支援金もできた。県は労働局と連携し雇用主・雇用者両方に働きかけを。非常時に備え医療と雇用を守るべきだが、いかがか。

**答** ①国に柔軟な運用や適用を求める必要がある②国だ、県だと言わずサポートしたい。雇用の振興は最後のセーフティネット、手を尽くしていく。

## ①開業医への支援を！ ②心のケアの充実を！



福間 裕隆 議員  
選挙区 西伯郡  
会派 会派民主

**問** ①開業医との情報交換を密に連携強化を図り、地域医療の確保に全力を挙げられたい②県の感染症対策本部に精神医療従事者が加わり、情報・意見の共有等対策が必要ではないか。

**答** ①全く異論はない。当分続く戦いである。政府に訴えたり鳥取県でやるべきこと、出来ることは積極的にする②今話し合いをしながら第二波に向けて動いている。精神科で新型コロナウイルスの陽性が出た場合の対応を東部・中部・西部ごとに考えている。

## ①男女共同参画の課題 ②喜多原学園の取組



浜田 妙子 議員  
選挙区 米子市  
会派 会派民主

**問** ①㊦今年度は第4次計画の最終年。5次計画への課題を問う①新型コロナ定額給付金は世帯主窓口のため、女性が不利。課題解決を②非行から虐待や発達障害児入所へ変わった喜多原学園。自立と調和を理念に取組が進み、教職員の人づくりの場にもなった。このノウハウを他に活かすべき。児童権利条約を教育現場に。

**答** ①㊦日常に根差す意識等充分論じ真の価値観を創造したい①政府に改善を求めたい②行政組織でも学ばせていただきたい。

## コロナ対策の教訓から、 地方公立病院は



森 雅幹 議員  
選挙区 米子市  
会派 会派民主

**問** 危機管理を考えていく上では、医療保険についても冗長性といったものが必要ではないのか？地方の公立病院が必要だと、知事会の役員として国と闘っていただきたい。

**答** 医療について体制整備を図らねばならない。命や健康を守る最後の砦、それが医療。地域の公的・公立病院は、医療過疎に悩むところの最後の存在であるとの認識が否応なく深まった。政府に対しようした趣旨を主張しながら、地域の医療体制の充実、維持、存続を図っていきたい。

※ eスポーツ：エレクトロニック・スポーツの略称。コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦を競技として捉えた用語。

## 本会議場における新型コロナウイルス感染防止対策

県議会では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月臨時会から、議員の席の間隔を空けるため、議場のレイアウトを変更したほか、マスクの着用、換気の励行や執行部の出席者を減らす等、密を避ける対策に取り組んでいます。



## 9月定例会の日程案

期 日	日 程
9月11日(金)	本 会 議 (開会・提案理由説明)
14日(月)	常任委員会
15日(火)	本 会 議 (代表質問)
17日(木)	
23日(水)	本 会 議 (一般質問・質疑)
24日(木)	
28日(月)	
29日(火)	
10月 1日(木)	
2日(金)	常任委員会
6日(火)	
7日(水)	特別委員会
8日(木)	本 会 議 (採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性があります。

※ 午前10時開会の予定です。

## 議会改革の取組

6月定例会中に開催された議会改革推進会議では、新型コロナウイルス感染症対策の一つとして、委員会をオンライン会議で開催する場合の課題について協議しました。

会議では、鳥取県議会委員会条例の改正を前提に、どのような状況であればオンライン会議を開催するのか、オンラインによる出席者の要件や手続はどうするのか、表決もオンライン上で行うかなど、様々な課題を協議しました。

特に、議員が感染し治療のため入院した場合や隔離された場合、その議員のオンライン出席を認めることについては、様々な意見が出されましたが、出席者としめない方向となりました。

県議会では、今後の新型コロナウイルス感染症の蔓延を想定し、委員会のオンライン会議での開催について引き続き検討していきます。





# 常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審査に加え、閉会中も継続審査や県内外調査、勉強会などの活動を続けています。

## 総務教育常任委員会

6月定例会では、新型コロナウイルス感染症への必要な対策を早急に講じるための予算等を盛り込んだ本委員会所管に係る令和2年度鳥取県一般会計補正予算(第2号)等6議案について、慎重に審査を行った結果、いずれの議案も妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

また、「部活動のある各競技の県大会実施についての陳情」や「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための2021年度政府予算に係る意見書採択を求める陳情」など今回新たに提出された陳情4件について、慎重な審査を行い、それぞれ討論、委員による採決の結果、いずれも「不採択」と決定した。



## 福祉生活病院常任委員会

6月定例会では、本委員会所管の令和2年度鳥取県一般会計補正予算(第2号)等の7議案について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

また、新たに提出された2件の陳情について慎重に審査を行い、「コロナ禍の中、都道府県化した国民健康保険制度に県の一般財源から補助を行い、市町村が徴収する国保税(料)を引き下げることについて」を求める陳情、「新型コロナウイルス感染症の影響で経営危機に直面する医療機関・介護事業所への緊急支援について」を求める陳情は、国に対し必要な要望を行っていることや各方面への支援の実施状況等を考慮し、いずれも「不採択」と決定した。



## 農林水産商工常任委員会

6月定例会では、本委員会所管の「令和2年度鳥取県一般会計補正予算(第2号)」など5議案について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

また、新たに提出された「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択」を求める陳情については、慎重に審査を行った結果、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により経済情勢や雇用環境が悪化し、雇用を守ることが最優先課題となる中で、最低賃金の引き上げについては、各都道府県労働局において慎重に審議の上、対応されるべきものであることから「不採択」と決定した。



## 地域づくり県土警察常任委員会

6月定例会では、令和2年度鳥取県一般会計補正予算(第2号)など6議案について慎重に審査を行い、その結果、いずれの議案も妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

上記の補正予算案のうち主な事業では、鳥取型「新たな生活様式」に即したイベント等開催支援事業や、新たな生活様式に対応した交通事業者応援事業等が挙げられ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた様々な施策や、防災情報の関係者間での共有を図るため、河川管理者とダム管理者との間の情報網の整備が提案されるなど、活発な議論が行われた。



自由民主党														会派民主						公明党			無所属			賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果			
浜田	中島	内田	内田	齊木	浜崎	西川	広谷	野坂	島谷	川部	福田	藤縄	西村	坂野	森	尾崎	浜田	興治	伊藤	福岡	濱辺	澤	銀杏	福浜	市谷					山川	由田	
一哉	規夫	隆嗣	博長	正一	晋一	憲雄	直樹	道明	龍司	洋	俊史	喜和	弥子	経三郎	雅幹	薫	妙子	英夫	保	裕隆	義孝	紀男	泰利	隆宏	知子	智帆	隆					
議案に対する賛否																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	可決	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	可決	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	33	1	34	可決	
委員長報告に対する賛否																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	25	9	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	25	9	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	24	10	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	24	10	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	24	10	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	24	10	34	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	24	10	34	不採択	

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。  
 …請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

議案等番号	件名	議決結果
①	鳥取県議会議員の議員報酬の額の特例に関する条例	可決
②	鳥取県政務活動費交付条例の一部を改正する条例	可決
③	鳥取県議会会議規則の一部を改正する規則	可決
④	台湾の世界保健機関(WHO)への参加を求める意見書	可決
⑥	北朝鮮による日本人拉致問題の完全解決を求める意見書	可決
⑦	畜産経営安定対策の拡充を求める意見書	可決

### 令和2年4月臨時会付議案等議決結果 (全会一致で議決された議案)

議案等番号	件名	議決結果
①	令和2年度鳥取県一般会計補正予算(第1号)	可決
②	令和2年度鳥取県営病院事業会計補正予算(第1号)	可決
③	鳥取県税条例の一部を改正する条例	可決

## 令和2年6月定例会付議案等議決結果（賛否が分かれた議案及び否決された議案）

議案等番号	件名	自由民主党							
		松田正	藤井一博	鹿島功	山口雅志	安田由毅	常田賢二	語堂正範	
②	令和2年度鳥取県国民健康保険運営事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	
③	令和2年度鳥取県営電気事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	
⑥	鳥取県特定個人情報の利用及び提供に関する条例及び鳥取県住民基本台帳法施行条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	
⑪	鳥取県営病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	
⑯	公共施設等運営権の設定(鳥取県営水力発電所)について	○	○	○	○	○	○	○	
●⑤	地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	
議案等番号	件名	委員長報告							
陳情2年-14	県下の状況によっては上位大会が中止の場合であっても部活動のある各競技の県大会実施について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情2年-15	各地区中学校総合体育大会を7月に実施する方針について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情2年-16	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情2年-17	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情2年-18	検察官の定年延長に係る閣議決定の撤回を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情2年-19	コロナ禍の中、都道府県化した国民健康保険制度に県の一般財源から補助を行い、市町村が徴収する国保税(料)を引き下げることにについて	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情2年-20	新型コロナウイルス感染症の影響で経営危機に直面する医療機関・介護事業所への緊急支援について	不採択	○	○	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案

賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長。

※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

## 令和2年6月定例会付議案等議決結果（全会一致で議決された議案）

議案等番号	件名	議決結果
①	令和2年度鳥取県一般会計補正予算(第2号)	可決
④	令和2年度鳥取県営病院事業会計補正予算(第2号)	可決
⑤	鳥取県税条例の一部を改正する条例	可決
⑦	職員の特殊勤務手当に関する条例及び警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑧	鳥取県屋外広告物条例及び鳥取県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑨	鳥取県営鳥取空港の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑩	鳥取県手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決
⑫	米子境港都市計画事業米子駅前通り土地区画整理事業の施行に関する条例を廃止する条例	可決
⑬	財産を減額して貸し付けること(鳥取県学校給食総合センター敷地)について	可決
⑭	財産を無償で貸し付けること(弓浜がすり伝承館)について	可決
⑮	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	可決
⑰	知事等の給料の特例に関する条例	可決
⑱	令和2年度鳥取県一般会計補正予算(第3号)	可決

# 関西広域連合議会で鳥取県選出議員が活動

関西広域連合では、平成22年12月の設立以来、官民を挙げた観光ツーリズムの推進、ドクターヘリの共同運行といった、個々の自治体では対応が困難な広域事務を着実に推進されています。

このほか、新型コロナウイルス感染症に対しても「関西・新型コロナウイルスを乗り越えよう宣言」を発し、府県民の協力を得ながら感染症に強い地域づくりに取り組まれています。

今後、「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催支援、来年の「東京2020オリンピック・パラリンピック」や「2025年大阪・関西万博」を見据えた誘客促進など、官民の力を結集した広域的かつ戦略的な取組が推進されています。

関西広域連合議会には本県議会から、興治議員（会派民主）、西川議員（県議会自由民主党）が選出され、共に「総務常任委員会」に所属する他、それぞれ「産業環境常任委員会（西川議員）」、「防災医療常任委員会（興治議員）」に所属し、「関西における鳥取県」の視点で、活発な議会活動を行っています。

## 関西広域連合議会における主な質問事項

### 興治 英夫 議員



- ウィズ・コロナ時代の観光について
- 広域防災対応について
- 災害時の代替ルートの確保について

### 西川 憲雄 議員



- 関西広域農林水産業ビジョンの取組の現状と課題について
- 農林水産業を担う人材の育成・確保事業について

## 県議会からのお知らせ

### 議場の天井耐震工事をしています

鳥取県議会では、議場天井の耐震化を図るため、現在、令和3年2月までの予定で改修工事を実施しています。



### 本会議の傍聴について(新型コロナ対策)

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、間隔をあけてお座りいただくよう、通常より傍聴席の席数を減らしています。

また、受付時に検温やマスク着用をお願いいたします。ご協力をお願いします。



### 県議会議員の政務活動費および資産等の公開

「令和元年度政務活動費収支報告書」及び「令和元年度資産等補充報告書等」の閲覧は次のとおりです。

○時間 午前8時30分から午後5時15分  
(閉庁日を除く。)

○受付 県議会事務局総務課（議会棟本館2階）

※政務活動費の収支報告の状況や領収書等は、鳥取県議会ホームページでも公開しています。

鳥取県議会 政務活動費



### パソコン・スマートフォンでご覧いただけます

本会議、常任委員会、特別委員会などの生中継と録画中継のインターネット放送は、パソコン・スマートフォンでご覧いただけます。

また、本会議はケーブルテレビでもご覧いただけます。

鳥取県議会ホームページは  
こちらから→



### あ と が き

「とっとり県議会だより」の表紙の写真は、東京オリンピック・パラリンピックに合わせ、出場が有力な鳥取県出身アスリートを紹介しております。残念ながら1年延期となってしまいましたが、鳥取県議会は今後も県民と一緒にあって応援してまいります。  
(広報委員T)